2022 年 7 月
全日本学生テニス連盟
理事長 平出匠史
レフェリー 村松海斗

全日本学生テニス選手権大会におけるヒートルールの運用について

全日本学生テニス選手権大会では、近年問題視されております、暑熱下でのプレーの危険性への対応策として以下の通りの対応をさせて頂きます。

1. ヒートルールの採用

全日本学生テニス選手権大会では、男女シングルス共にヒートルール(最終セット前に 10 分間のコート外での休憩)を採用する。会場内に設置する黒球温度計において、WBGT31℃以上または気温 35℃以上を記録した場合、ファイナルセット前に 10 分間の休憩(セットブレークを含む)が認められる。この 10 分間の休憩ではトイレ、着替えは出来るが、コーチングを受けることは出来ない。又、試合進行中に気温が下がった場合でも、一度ヒートルールが決定された試合には、試合途中に中断がない限り、休憩は解除されない。気温の測定は、試合開始 30 分前と試合開始 1 時間後から 1 時間ごとに測るものとする。

2. JTA 公式トーナメント競技規則「25.メディカルルール」の「8.身体的プレーの限界の適用

身体的に試合を開始、続行できる状態でないとトレーナーまたはドクターが判断した場合は(プレーを開始あるいは続行することが選手に悪影響を及ぼすと判断した場合は)、レフェリーが医学的アドバイスやあらゆる状況を考慮し、選手を棄権、あるいはリタイアさせる最終判断を行う。

以上